

キャリア教育のいま

国際教養大学・中嶋嶺雄学長に聞く

人材こそ資源、世界を活躍の場に！

大学改革は日本を活性化させる



「若者のグローバル教育こそ資源」と語る中嶋学長に聞いた。

いままでの日本にない思いついた大学のデザインをされました。

これからのグローバル化時代を担う若者の育成がいかに大切か、そのためにはグローバル・スタンダードの大学を創らなくては意味がないという危機感がありました。ですから創るなら今の日本にない、国際標準の大学を創りたいとずっと主張してきました。

今春の新卒者の就職率も厳しかった。不景気の時代であれば、受験生や保護者も就職への関心が高くなり、それが大学選びの決め手になることも多い。ところが就職率100%を誇る大学が秋田にある。6年前に開学した公立大学法人・国際教養大学がそれ。

中嶋嶺雄学長は「世界を舞台に活躍できる人材の育成」を柱に「国際教養」という新しい教育理念を掲げてきた。1年次は全寮制、1年間の留学義務、授業は全て英語など、厳しい教育プログラムによって鍛えられる学生。大学の教員として教鞭をとり、また大学の行政や大学・大学院の運営に携わっている当事者が、いかに深刻な危機意識をもって、この問題に切り込んできたか伺い知ることができ

る。その、大学人材育成論、とも言つべき著書『全球(グローバル)「教育論」』(西村書店刊)がこのほど刊行された。本書では21世紀のグローバルな知識基盤社会において高等教育の在り方が、国の未来を決定する大きな要因になることを教える

学問をする場所としては大変いい環境です。秋田市

中心部からは遠いものの秋田空港から車で約7分、秋田杉の薫りに包まれた自然豊かな所です。5月ごろになると水芭蕉の群生に出会うこともできるんです。図書館は24時間オープンです。学問を集中的にする場所としては最適だと思います。

入学当時1年間は全寮制ですね。

それも大学を創る時には「今の若者には向かないのではないか?」と言う意見がありました。しかし今の若者だからこそ集団生活が大切で、特に留学生の多い大学なので、各国の学生と一緒に暮らします。その中では文化的な違いで問題が起り、それをいかに克服することができると、その上に異文化理解があるわけですね。学生もこの1年を有意義な時間と考えて満足していますよ。

日本の大学には普通中国、韓国、台湾などが圧倒的に多いのですが、うちは欧米からも幅広く来ています。学生全員に1年間の留学も義務づけられていますね。

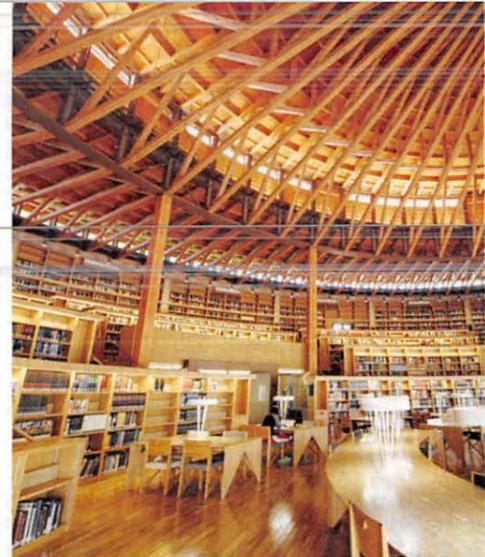
十分に学び留学を経験した後で進路を決めるシステムですね。

日本の大学では学生がまだ何をしたいのか十分にはわからない状態で、狭い枠の中に押し込められてしまうような形の選択をしていますね。それは学生の将来に良いこととは言えません。そこでまず十分に教養教育を身につけて、その上で自分は何をやって行くのか、自分で学んで発見して行くことが大切です。

入学システムは多様ですね。

具体的には、A・O・高校生留学、推薦、A・B・C日程、9月入学と6種類の入試があります。特に評価したいのは、高校生留学です。高校時代にホームステイをし、異文化体験をして、6月に帰って来て夏の試験を受けて9月に入学するんです。

日本の公立大学です。選考は客観性、公平性を保たねばならないので、非常に難しいのですが、受験勉強だけではないか



秋田杉の薫る図書館は24時間オープン

西村書店 002-0071 東京都千代田区富士見2-4-6 tel:03-5239-7071 fax:03-5239-7022 www.nishimurashoten.co.jp

地図を旅する 永遠の都 ローマ物語 直木賞作家 佐々木譲さん 1冊1,704円

グローバル「全球」教育論 知の大競争時代の大学と人材育成を考える 国際教養大学学長 中嶋嶺雄 著 1575円

ボーニー ペーパークラフトブック ガウディ サグラダファミリア聖堂 4410円

小公子 セドリック 1890円

学校の先生だってもとは僕らと同じ高校生だったんだ

教師になるには 2011年度版 1155円

一ツ橋書店 http://www.one-bridge.jp 東京都文京区水道2-10-12 電話03-3943-4241

有斐閣 http://www.yuhikaku.co.jp/

キャリアのみかた 図で見ると109のポイント 阿部正浩・松繁和編 四六判 1995円

現代教育社会学 岩井八郎・近藤博之編 [有斐閣ブックス] 2310円

〒101-0051 千代田区神田神保町2-17 TEL 03(3265)6811 表示価格は税込